

第15回

QOL-PRO 研究会 WEB セミナー

テーマ 未来の医療のデザイン～患者の心の中のどこを測りどう活かすか～

Program

特別講演 1

患者視点の医療の質指標：PXとは何か

東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター
臨床疫学研究部 講師 青木 拓也 先生

招待講演

希少がんになる～食道GIST患者の立場から～

がんを罹患し治療を受けておられる患者さんを研究会にお招きし、その体験をご講演いただきます

特別講演 2

EBMの向こう：エビデンス、ナラティブ、SDM

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻
健康情報学分野 教授 中山 健夫 先生

2021.

7.17 SAT.

参加
無料

時間

13:00～16:30

プレセミナー

QOL-PRO研究入門 12:00～12:40

開催方法

zoom <https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>
を用いたWEB形式

参加登録

下記サイトから事前登録をお願い致します

https://kyoto-u-edu.zoom.us/meeting/register/tZMsdeqhrzMiHNRAS1Cw2KadmXwK_BqQHSEe



対象

医療職

医学系研究者

医療系企業所属の

医療関係者など

QOL-PRO 研究会

非会員も参加OK

注意事項

- ・申し込み人数を制限することがあります。(その場合は先着順)
- ・個々の接続などの対応はできません。
- ・聴講参加用 URL を第3者へ転送することを禁止します。
- ・録音、録画、キャプチャー取得などのデータ保管、転載、転用を禁止します。
- ・受講時に知りえた個人情報をセミナー外へ口外することを禁止します。
- ・主催者の判断で退出処理をさせていただくことがあります。

お問い合わせ

第15回 QOL-PRO研究会

WEBセミナー担当世話人

qolpro15webseminar@gmail.com

QOL-PRO研究会

お問い合わせフォーム

http://qol_pro.umin.jp/contact.html



PROGRAM

特別講演 1

患者視点の医療の質指標 PXとは何か

Patient Experience (PX)という概念をご存知でしょうか？
まだ日本では聞きなれない言葉ですが、PXは医療サービスに関する患者の経験を意味し、従来の患者満足度の進化系として、今や国際的に重要な医療の質指標に位置付けられています。PXはPROとの関係が深い概念であり、いわばPROの弟分のような存在です。本講演ではPXの概要、QOL/PROとの関係、PXの測定・活用方法などについてお話しさせていただきます。QOL/PROに関わる多くの方々にPXについて知っていただく機会になれば幸いです。

東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター
臨床疫学研究部 講師 **青木拓也** 先生

招待講演

希少がんになる ～食道 GIST 患者の立場から～

患者さんは病気や治療を通じ、仕事、趣味、日々の生活の変化を経験しますが、医療者がその詳細を知ることは実は少ないのではないのでしょうか。がんを罹患し治療を受けておられる患者さんを研究会にお招きし、その体験をご講演いただきます。
実体験から、QOLやPROを測定する研究やそれを今後の医療にどう役立てるのかについて考えてみたいと思います。



特別講演 2

EBMの向こう エビデンス、ナラティブ、SDM

誕生から約30年、EBM (evidence-based medicine) は、多くの臨床家に指針を与えてきました。しかしEBMはエビデンスのみに立脚するのではなく、患者さんの価値観もオリジナルの定義に含まれていることは、必ずしも広く知られていません。エビデンスに基づく診療ガイドラインと患者さんの物語、ナラティブをどう両立し、より良い意思決定に役立てていくか、一つのゴールとして注目されつつあるSDM (Shared Decision Making) の視点からお話しさせていただきます。本講演がQOL/PRO研究に取り組む方々にとって、何かの手掛かりになることを願っています。

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻
健康情報学分野 教授 **中山健夫** 先生

開催概要

この度、2021年7月17日に、2020年夏に京都で開催予定のところ延期しておりましたQOL-PRO研究会セミナーをWeb上で開催させていただきます。本セミナーのテーマは「未来の医療のデザイン：患者の心の中のどこを測りどう活かすか」です。私達医療者は、効果が高く、安全な医療を患者さんに提供しようとしています。同時に、患者さんが安心して、納得して治療を受けてもらうことも共通する願いです。そうした医療を実現するためには、生存率・副作用・有害事象といった従来型のアウトカムを超え、患者さんの心の中のどの部分をどう測定しどう活かしていけばいいのでしょうか。本セミナーでは3名の講師をお招きして、様々な角度から「患者さんの心の中」を探求したいと思います。

当日はZoomのミーティング機能を利用します。当研究会セミナーの特徴である演者と聴衆の双方向性のディスカッションにwebではありますが、できるだけ時間を取りたいと考えています。また、QOL研究の初学者の方に向けて、プレセミナー「QOL-PRO研究入門」を実施させていただきます。奮ってご参加の程お願い致します。

7月の京都は祇園祭の季節です。869年に疫病を鎮めるため、66本の鉾を作り祈願したことが本祭の起源です。その1150年後に住む私達も疫病に悩まされていますが、人類はこれまで多くの病気を科学的に検証し、克服し、成績を改善してきました。新型コロナウイルス感染症が収束する未来はいつか来るものと思いますが、これから私達はそれぞれの分野で未来の医療をどうデザインしていけばよいでしょうか。参加者の皆様と一緒に「患者さんの心の中」をテーマに考えたいと思います。

Webでの実施にあたり、ご不便をおかけすることもあるかと存じますが、どうぞよろしくお願い致します。

第15回 **QOL-PRO研究会** webセミナー担当世話人
京都大学医学部附属病院医療安全管理部 / 消化管外科 錦織達人



主催： **QOL-PRO研究会**
後援： **京都大学外科交流センター**

QOL-PRO
Japanese Society for Quality of Life and Patient-Reported Outcomes Research